

**公益財団法人横須賀芸術文化財団**

**平成 27 年度第 4 回理事会**

**議 事 録**

**(平成 28 年 3 月 14 日開催)**

**公益財団法人横須賀芸術文化財団**  
**平成 27 年度第 4 回理事会**  
**議 事 録**

- 1 開催日時** 平成 28 年 3 月 14 日（月）12 時 30 分から 14 時まで
- 2 開催場所** 横須賀芸術劇場 大劇場 楽屋 8
- 3 出席者** 理事総数 6 名  
出席理事 6 名（代表理事・理事長を含む。）  
小沢一彦（理事長）、木村忠昭（副理事長）、  
原田恵次（常務理事）、齋藤道子、竹内英樹、渡辺晴夫  
監事総数 2 名  
出席監事 2 名  
伊藤智則、山寄進康

**4 議長** 小沢一彦（代表理事・理事長）

**5 決議及び承認事項**

議案第 10 号 平成 28 年度事業計画及び予算について

議案第 11 号 事務処理規則の一部改正について

**6 報告事項**

- ・平成 27 年度自主公演事業計画の一部変更について
- ・平成 27 年 7 月 1 日以降の職務の執行状況について
- ・「第 6 回野島稔・よこすかピアノコンクール」の応募状況について

**7 議事の経過概要及びその結果**

定刻に小沢理事長が議長席に着き、天沼業務部長が開会を宣言。

定款第 33 条第 1 項の規定に基づき、小沢理事長を議長に選出。

小沢理事長が、定款第 34 条に規定する定足数を満たしていることを確認し、本理事会が有効に成立した旨を宣言。

併せて、定款第 37 条第 2 項に基づき、小沢理事長、木村副理事長、伊藤監事及び山寄監事を議事録署名人に指名した。

小沢理事長が各議案を上程し、事務局に説明を指示し、議案の審議に入った。

**（1）議案第 10 号 平成 28 年度事業計画及び予算について**

大倉事業課長（事業計画）及び柳田管理課長（予算）が詳細を説明。

説明によると、平成 28 年度は、横須賀芸術劇場の指定管理期間の第 3 期の 3 年目となる。当財団の長年の経験を活かし、劇場が「市民の賑わいと交流を生む場」、「文化振興の拠点」として更に充実するよう努めていく。また、横須賀の芸術文化の創造及び発展並びに文化的な潤いのある地域社会の実現のため、活力ある事業運営を行っていく。施設については、安全管理に努め、快適な施設環境を提供し、賑わいの場として多くの集客に努めていく。

予算については、退職給付引当資産や、事業資金確保のため特定資産の取崩しを行う。事業活動収支は3,974万9,000円のマイナス、投資活動収支は、特定資産取崩収入など4,974万9,000円、その他予備費を含め、当期収支差額はプラスマイナス0となる。なお、公益目的事業比率は78%となり、資金調達及び設備投資の見込みについてはないとの説明であった。

本議案に関連し、次の質疑応答があった。

- ・竹内理事：退職者が出るということだが、現在の財団の職員の人数、年齢構成はどうなっているのか。
- ・柳田課長：現在は18名で契約職員を1名含む。平成28年度からは契約職員を1名新規採用する予定であり19名となる。年齢構成は40代が多くなってきており、定年退職者については、平成28年度の1名を含め本指定期間中に3名となる予定である。
- ・小沢理事長：現在のチケット購買層、入会者の平均年齢はどのくらいで、どのあたりの地域が多いか。
- ・大倉課長：年代は60～70代が中心。地域は三浦半島各市町はじめ、港南区、金沢区などの横浜中・南部、自主公演では東京からもある。会員制度を変えたことで入会しやすくなったため、新規に入会、購入する方が増えている。
- ・小沢理事長：事業については、情緒豊かで良いものを、レベルを落とすことなく、いかに維持していくかをよく考えて運営されたい。
- ・小沢理事長：施設も20年も経つと様々な修繕が必要になる。市に負担をお願いするだけでなく、財団の予算の中で対処するのが望ましい。
- ・木村副理事長：大劇場で観劇の際に、客席階段の段差にお年寄りが躓きそうになっているのを見かけた。ご案内には十分注意されたい。
- ・伊藤監事：舞台の更新工事が長期間予定されているが、公演が減るなど運営上影響はないか。
- ・原田常務理事：工期は閑散期である年末から1月中に実施するため影響はない。

## (2) 議案第11号 事務処理規則の一部改正について

柳田管理課長が説明。

説明によると、横須賀芸術劇場友の会が、横須賀芸術劇場プレミアム倶楽部に移行したことに伴い、別表1中「業務部事業課」の内容欄(4)「横須賀芸術劇場友の会に関すること。」を「横須賀芸術劇場プレミアム倶楽部に関すること。」に改める。また、財務事項の専決区分の整合性を図るため、別表2中「財務事項」の部分にかかる部長の専決規定を削除するとの内容であった。

## (3) 報告事項

### ・平成27年度自主公演事業計画の一部変更について

大倉事業課長が説明。

平成27年度自主公演事業計画については、当初、追加実施見込みの6事業6公演を含む55事業62公演を実施する旨承認を受けたが、最終的に54事業62公演

となる見込みであることが報告された。

・平成 27 年 7 月 1 日以降の職務の執行状況について

大倉事業課長が報告。

横須賀市関係に関連する事項として、芸術劇場指定管理業務に係る月次報告、市議会向け経営状況の報告を行ったことのほか、市内外の企業に対し事業協賛の依頼を行ったことなどが報告された。

・「第 6 回野島稔・よこすかピアノコンクール」応募状況について

大倉事業課長が報告。

応募総数は 68 名（男性 24 名、女性 44 名）で、第 1 次予選進出者数は 66 名であることなどが報告された。4 月 23 日から 29 日までの 6 日間で開催する。

以上をもって、議事全部の審議及び報告が終了したので、14 時、議長が閉会を宣し解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事及び監事が記名押印する。

平成 28 年 3 月 25 日

公益財団法人横須賀芸術文化財団

議 長

代表理事（理事長）

小 沢 一 彦

(代表者印)

代表理事（副理事長）

木 村 忠 昭

印

監 事

伊 藤 智 則

印

監 事

山 寄 進 康

印